

令和5年度 江別市子どもの読書活動推進計画（第3期）推進状況報告書

計画期間 令和元年度～令和5年度

基本目標1：家庭、地域、学校を通じた社会全体での子どもの読書活動の推進

【基本目標1で目指すこと】

子どもの読書習慣を定着させ、自主的な読書活動を推進するためには、家庭、地域、学校等社会全体で読書活動を推進する取組を進めていく必要があります。

そのため、家庭、地域、学校等が推進に向けたそれぞれの役割を明確にすることとともに、関係機関や団体等と連携し、相互に協力しつつ、子どもの発達の段階に応じて多様な取組を進めていきます。

◆成果指標1 学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たり10分以上読書する子どもの割合

現状値（H29年度）	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	目標値（R5年度）
小学校6年生 62.7%	63.6%	未実施	64.0%	64.3%	66.4%	→
中学校3年生 55.2%	54.9%	未実施	49.9%	47.9%	55.0%	→

指標：全国学力・学習状況調査

◆成果指標2 学校図書館における児童生徒一人当たりの年間図書貸出冊数

現状値（H29年度）	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	目標値（R5年度）
25.9冊	22.8冊	20.4冊	23.1冊	22.4冊	21.3冊	→

指標：江別市教育委員会調査

◆成果指標3 情報図書館における18歳以下の利用者一人当たりの年間図書貸出冊数

現状値（H29年度）	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	目標値（R5年度）
5.4冊	4.5冊	3.9冊	3.7冊	4.4冊	4.3冊	→

指標：江別市教育委員会調査

◆成果指標4 情報図書館・保健センター・子育て支援センターが行う読み聞かせの回数

現状値（H29年度）	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	目標値（R5年度）
521回	512回	316回	245回	452回	560回	→

指標：江別市教育委員会調査

◆成果指標5 満1歳未満の乳児とその保護者を対象とした「親と子の絵本事業」における、対象家庭への訪問割合

現状値（H29年度）	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	目標値（R5年度）
97.3%	96.2%	95.9%	96.6%	96.5%	97.3%	→

指標：江別市教育委員会調査

■前年度の取組内容、成果指標の動向・分析及び次年度の推進の方向性

・情報図書館では、「としょかんまつり」などのイベントや読み聞かせを行い、子どもが本に親しむ機会を提供することで、読書への関心や興味が高まるよう、読書活動を推進する取組を行いました。

・各学校においても、ボランティアによる読み聞かせや朝読書など、より多くの本に親しむことができるよう、読書活動を推進する取組を継続して行いました。

・成果指標1は、中学3年生がわずかに目標に達しなかったものの前年度より大きく増加し、小学校6年生は目標を達成しました。これは、学校と図書館が連携し、子ども達にとって魅力的な蔵書の整備に努めるなど、学校における読書活動の推進が、読書意欲を高めることにつながったためと考えられます。また、成果指標2及び成果指標3は、それぞれ現状値より貸出数が減少し、目標に達しませんでした。いずれも一定の読書量は見受けられるものの、数値が減少した原因として、スマートフォン等の普及に伴う利用時間の増加が一因と考えられます。

・成果指標4は、令和5年5月の新型コロナウイルス感染症の5類への移行を機に読み聞かせの開催が増加し、コロナ禍期間である前年度以前の数値を超え、目標を上回りました。

・成果指標5は、高い数値水準で推移し、保護者とともに本にふれあう機会を提供することができました。

・次年度以降も、情報図書館、各学校、保健センター及び子育て支援センターでは、読み聞かせなどを行い本に触れる機会を提供していくとともに、「親と子の絵本事業」を継続し、乳児期から保護者が子どもの読書について考える機会を提供していきます。

第4期も、家庭、地域、学校等を通じて、子どもの読書活動を推進する取組を進めていきます。

基本目標 2：子どもの読書活動を推進するための読書環境の整備

【基本目標 2 で目指すこと】

子どもの読書習慣を形成するためには、子どもの発達の各段階を踏まえた読書活動に取り組むことができるよう、読書環境の整備を進める必要があります。

そのため、子どもが読書の楽しさを知るきっかけをつくるとともに、読書活動の推進に向けた場所や機会の提供などを通じて、望ましい読書環境づくりに努めます。

◆成果指標 1 情報図書館における児童書の冊数

現状値（H29年度）	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	目標値（R5年度）
107,505冊	106,381冊	105,737冊	106,457冊	107,381冊	108,670冊	→

指標：江別市教育委員会調査

◆成果指標 2 学校図書館図書標準を達成している学校の割合

現状値（H29年度）	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	目標値（R5年度）
23.1%	52.0%	48.0%	60.0%	76.0%	88.0%	→

指標：江別市教育委員会調査

◆成果指標 3 学校司書（巡回）、支援司書による学校への対応回数

現状値（H29年度）	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	目標値（R5年度）
778回	729回	876回	814回	725回	1,071回	→

指標：江別市教育委員会調査

■前年度の取組内容、成果指標の動向・分析及び次年度の推進の方向性

・情報図書館では、情報図書館資料収集方針に基づき児童書を継続して購入しています。また、学校司書（巡回）と支援司書が児童生徒の朝学習などの読書活動や調べ学習などの教育活動の支援をする取組を行いました。

・学校図書館では、図書標準の達成に向け蔵書率の低い学校から重点的に図書の整備を行いました。

・成果指標 1 は、目標を達成しました。これは、古い資料の整理を行う一方で、児童書を購入したことによるものです。

・成果指標 2 は、目標を達成しました。学校図書館の蔵書率の低い学校から図書の整備をしたことによるものです。なお、図書標準を達成していない学校でも概ね90%台で推移しています。

・成果指標 3 は、目標を達成しました。これは、令和5年度に学校司書（巡回）を令和4年度以前の3名から1名増員した結果、学校への対応回数が増えたことによるものです。

・次年度以降も、子どもが調べたいとき、読みたいときに必要な本を手にすることができるよう、情報図書館及び学校図書館の蔵書整備を引き続き進めていきます。また、情報図書館と学校が連携して、学校図書館の環境整備を行っていくとともに、学校司書（巡回）と支援司書が、児童生徒の朝読書などの読書活動や調べ学習などの教育活動を支援する取組を継続して行っていきます。